

南シューナ郡における女性の自立のための洋裁技術職業訓練事業フェーズ3

フェーズ3後半2012年8月9日～2013年3月8日

特定非営利活動法人 リボン・京都



ファッションショー及び修了式典の準備



アンマン市内の生地屋にて、決定したデザインに適した生地を探す訓練生



デザイン決定⇒型紙製作⇒仮縫い⇒本縫い
訓練中の様子、指導中の有本(写真右中)



モデルとなる訓練生の体型に合わせて、
オーダーメイドで仮縫いしていく訓練生



カウンターパートの代表(写真右前方左)も参加し、
作品を指導していく有本と飯村(写真右前方右)



洋裁責任者 中島からウェディングドレス用手作り
ブーケの指導を受ける現地洋裁教員



伝統衣装用のパレスチナ刺繍の一部

2013年1月31日ファッションショー及び修了式典の様子

特定非営利活動法人 リボーン・京都



テーマ「Hand by Hand Revive the Cultures」

修了制作作品、着物の生地を再利用したウエディングドレスとフォーマルドレス



ヨルダン地元紙「Jordan Times」に記事掲載

ファッションショーでは、全39デザインを披露
伝統衣装、リボーンウエア
カジュアルウエア、フォーマルウエア
学制服、キッズドレス
フォーマルドレス、ウエディングドレス

全ての作品はこのファッションショーのために
訓練し制作した作品



開会の挨拶をする当会理事長小玉

今後の持続性に向けて

特定非営利活動法人 リボン・京都



企業訪問、Jordan River Foundation
活動施設訪問



Jordan River Foundation 今後の事業協力を約束



アンマン市内の取引小売店訪問



店舗オーナーと商談する3期目フィールドスタッフ



現在取引店にて、南シューナで制作された作品を店頭にて販売。
順調に受注をうけ、販促リーダーが積極的に作品をアピール、
受注に繋げている。

(写真: 帯クッション・シューナのラクダ・子供服・帯地テーブルセンター)